

日・ヨルダン共同声明(骨子)

1. 二国間関係

- ・日・ヨルダンの外交関係樹立 60 周年の機会に、皇室・王室の伝統的友好関係を始めとする良好な二国間関係を一層発展させる決意を再確認。
- ・アブドゥラー2世国王は、これまでの日本の対ヨルダン支援に謝意を表明。
- ・総額約 24 億円の無償資金協力の交換公文に署名(「バルカ県送配水網改修・拡張計画」及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力)。
- ・安倍総理は、ヨルダンの困難な財政状況及びシリア難民の継続的な流入を理解し、国際社会と協力してヨルダン支援を継続することを確認。
- ・外相政策協議及び高級実務者協議の強化、防衛関係者の相互訪問の活発化で一致。
- ・アブドゥラー2世国王は、日本が本年供与した一般文化無償資金協力「ペトラ博物館建設計画(6億8,620万円)」に対し謝意を表明。
- ・アブドゥラー2世国王は、原子力や再生可能エネルギーの分野における日本企業の経験や技術面での優位性を高く評価し、日本企業の一層活発な活動に対する支持及び奨励を表明。
- ・両国のサッカー協会によるパートナーシップ協定の締結を歓迎し、「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムを通じて両国間のスポーツ分野での交流を強化していく旨の安倍総理の意思を歓迎。
- ・両首脳は、女性の社会参画の重要性を共有し、その促進に向けた協力を確認。
- ・安倍総理は、日本の国連安全保障理事会常任理事国入りに対するヨルダンの継続的な支持に謝意を表明。ヨルダンの安全保障理事会での積極的役割を評価。

2. 地域と国際社会の平和と安定に向けた協力

- ・アブドゥラー2世国王は、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から日本が果たしている地域・国際社会の平和と安定及び繁栄への貢献を歓迎し、日本の安全保障政策への支持を表明。
- ・安倍総理は、中東地域の平和と安定に果たすヨルダンの役割を高く評価。アブドゥラー2世国王は、日本のイニシアティブである「平和と繁栄の回廊」構想を評価し、構想の実現を再確認。
- ・両首脳は、イスラエル・パレスチナに対し、「二国家解決」に向けた交渉再開と、暴力の増大や現状変更を含めた最終的な平和的な解決を阻害する一方的な行為の中止を要請。
- ・両首脳は、国際社会に見られる力や威圧を背景とした一方的な現状変更の試みは受け入れられないとの認識を共有。平和及び安定、阻害されない通商、公海における航行及び上空飛行の自由の重要性を再確認。
- ・両首脳は、ISILは国際秩序に対する重大な脅威であり、幅広い分野における国際社会による共同努力の必要性につき認識を共有。安倍総理は、ISILの脅威に対抗するヨルダンの役割を評価。アブドゥラー2世国王は日本の人道支援を含むテロとの闘いを高く評価。
- ・国際法に従ってアジア太平洋地域の平和と安定を維持することの重要性を確認。
- ・2015年NPT運用検討会議の成功に向けた協力継続・推進を表明。
- ・北朝鮮による核兵器及び弾道ミサイル開発の継続並びに拉致問題に対処するための協力強化を表明。
- ・両国がPKO分野で果たす役割を互いに高く評価し、両国間の協力の強化で一致。
- ・2015年中に、常任理事国及び非常任理事国双方の拡大を含む安全保障理事会の改革について具体的な成果を得るため取組を強化することで一致。
- ・気候変動、環境問題及び防災等の地球規模課題について、第3回国連防災世界会議への積極的な参加と緊密な協力を含め、両国の協力を確認。